

「コンベンション」は

「コンベンション」という言葉の語源は、ラテン語の「CON（共に）」「VENTO（来る・一緒に来る・一致する）」からきており、「人々が集まって会話を交わし、意見交換をし、時には物品の交換・売買などを行うこと」を意味しています。現在の日本では、「コンベ

ンション」と言えば、一般的に「人が集まって、情報交換や知識の学習、あるいは親睦を深める場」、「人が非日常的に、物・情報・文化などの共通の目的を持って一定の場所に集合する催し」とされ、具体的には、次のような催しに分類されます。

■「コンベンション」の分類

- 大会・会議
- 研修会・講演会
- 見本市・展示会
- イベント
- 祝賀会など



第16回日本シニアテニス全国大会
(平成15年5月)



全国市長会中国支部総会
(平成15年5月)



国民文化祭・夢フェスタとっとり
(平成14年10月)

「コンベンション」がもたらす効果

コンベンションの効果
を説明する場合に、「風吹けば桶屋が儲かる」ということわざがよく使われます。「コンベンション」の開催が地域に与える影

響・効果は大きく、経済・社会などの幅広い分野におよびます。しかも、その効果は一部・一過性のものではなく、さまざまな産業に永久にもたらさ

れるものです。このことに注目し、全国各地の都市や地域が「コンベンション」開催を地域活性化に役立てようと、誘致・支援活動に取り組んでいます。

■「コンベンション」の開催がもたらす波及効果の流れ

